

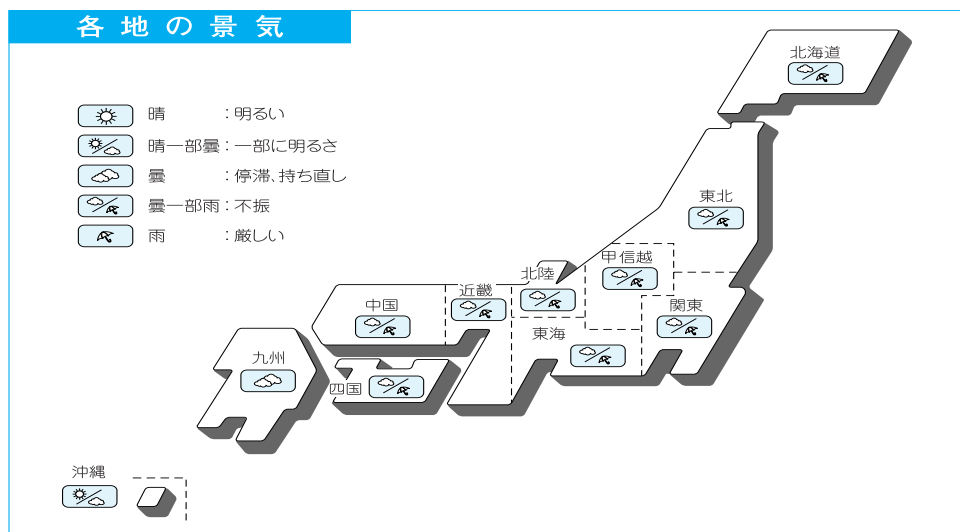
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成25年3月発表分) から

生産や輸出に改善の動きがみられ、景気は下げ止まり

1. 各地の景況感



- ☔☀️ • 北海道、中国…輸出は、北米向けを中心に自動車、自動車部品が増加。
- ☔☀️ • 東北、関東…個人消費は、乗用車販売が減少したほか、大型小売店販売が雪の影響による来店客の落込みから減少し、足踏み。
- ☔☀️ • 甲信越、東海…生産は、一般機械、自動車が増加するなど、下げ止まり。
- ☔☀️ • 北陸…生産は、医薬品が高水準を持続。
- ☔☀️ • 近畿…輸出は、電気回路機器、科学光学機器が増加。
- ☔☀️ • 四国…生産は、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品が増加。
- ☁️ • 九州…生産は、鉄鋼が減少したものの、一般機械、情報通信機械が増加し、下げ止まり。
- ☔☀️ • 沖縄…観光は、国内線LCC（格安航空）の就航から国内客が増加し、持ち直し。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加し、回復に向けた動き。

2. 近県「現在の景気」

「宮城県」

全体として景気は、震災復旧事業の増勢などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しているが、一部に弱めの動きがみられるなど、回復のテンポは鈍化してきている。

「山形県」

一部に弱い動きがみられるものの、下げ止まりの兆し。

「新潟県」

下げ止まりつつある。

「栃木県」

弱い動き。

「茨城県」

弱めの動き。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

2月25日、青森県は三村申吾知事を本部長とする豪雪対策本部を設置。同本部の設置は昨年度に続き2年連続。弘前市は1982年の統計開始以来最高の153cm（2月25日）、青森市・酸ヶ湯は気象庁観測地点で最高積雪の566cmを記録（2月26日）。

「岩手県」

岩手経済研究所が1月に実施した「岩手県内企業景況調査」（回答数193）によると、県内企業の最近の業況はBSIが前回（2012年10月）調査比2.4ポイント低下し△16.9。前回4期ぶりにマイナスに転じ、今回も僅かながら悪化しており、復興需要などを背景にした回復に動きが弱まっているとみられる。また、円安傾向となり輸出の環境が改善してきた一方、欧州など世界経済の減速が続いていることや、原油など資源価格の上昇から、生産の回復がまだ本格化していないことも要因。業況の先行き（今後3ヶ月間）は、BSIが△24.9と現状を8.0ポイント下回り、マイナス幅が拡大する見通し。海外経済の減速感が続いていることや、個人消費も弱い動きとなっており、景気の先行きに慎重な見方が増加。

「秋田県」

東部ガス（本社東京）は液化天然ガス（LNG）貯蔵基地の建設地として、大王製紙の進出予定地だった秋田市飯島の県有地約4万㎡を2億810万円で購入し、2月28日付で県と契約。6月から着工し、2015年12月に稼働予定。同基地と同市の都市ガス供給基地を結ぶパイプラインも敷設し、設備投資額は60億円規模。年間取扱量2万5,000tを見込む。

「宮城県」

女川町とJR東日本は、震災で被災し休止中の石

巻線浦宿～女川間の復旧に関する覚書を締結した。再開の時期については未定だが、これで石巻線の全面復旧が正式に決定した。女川駅は震災前より150m内陸部に移設し、浦宿～女川間の運行距離は現行より0.5km短くなる。女川町では、平成26年度末の再開を要望しており、駅開業に合わせ駅前広場を整備し、商店街形成に向けた取組みを加速させる。

「山形県」

山形県の発表によると、2010年度の県内総生産は3兆7,391億円（名目）、成長率は名目値が前年度比2.9%増加、実質値が5.8%増加。製造業、卸・小売業が増加したことから、名目、実質ともに3年ぶりに増加。県民所得は前年度比4.2%増の2兆8,798億円。企業所得が増加したことから3年ぶりに増加。

「新潟県」

新潟労働局が発表した今春卒業予定の県内の大学生・高校生の就職内定率（2013年1月末時点）は、大学・専修学校が80.9%（前年同期比4.3ポイント増）、高校が94.6%（同4.5ポイント増）。大学・専修学校、高校とも3年連続で改善し、リーマンショック前の2008年1月末時点の水準を上回った。

「茨城県」

2月25日、東京ガスは茨城港日立港区（日立市）内に整備する液化天然ガス（LNG）基地とパイプラインの建設について、栃木県真岡市方面へ結ぶ基幹パイプラインを拡充し、真岡～古河市間など3本のラインを県内に新設する計画を発表。基地は2015年度に稼働し、パイプラインは新設分を含め2020年度には県央以南全域に張り巡らされる見通し。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図3月分より抜粋）

（担当：斎藤）